



2022年7月 29 日  
松竹株式会社

## 歌舞伎座七月大歌舞伎 ご報告

平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度は、歌舞伎座「七月大歌舞伎」につきまして、多くの新型コロナウイルス陽性者の発生などに伴い、7月18日以降、千穂楽に至ります迄、一部ならびに全部の公演を中止とさせていただきますことを改めて深くお詫び申し上げます。ご観劇を楽しみにしていただいた方には誠に申し訳なく存じます。

先般、7月17日以降21日まで、随時の一斉 PCR 検査の結果、ならびに48名の罹患者による公演中止に至った経緯を発表しましたが、その発表以来、各方面の皆様から、罹患者の容態をご心配いただく声を多数頂戴いたしました。皆様のお心遣いに心より御礼申し上げます。

歌舞伎座では、毎回の公演に先立ち、劇場全体で数百名に及ぶ事前の一斉 PCR 検査を行い、全員の陰性を確認した上で稽古を開始しておりますが、体調不良者が生じた際は、直ちに該当者を隔離した上でその周辺者の検査を実施するなど、常に公演継続可否の判断には慎重を期して参りました。しかしながら、7月公演に際しては体調不良者として検査した19名のうち18名、周辺者検査で531名のうち48名の陽性を確認し、最終的に公演当初からの陽性者は66名に上りました。残念ながら第7波の伝播力を押さえ込むことが出来なかったと言えます。

ただ、重症者は現時点においても発生しておらず、それぞれ順調に回復に向っております。軽症者の主症状は発熱、咽頭痛、倦怠感などですが、発熱は概ね二日間程度で落ち着く方が多く、殆ど無症状のまま快癒された方がいることも確認しておりますので、どうぞご安心いただきたく存じます。

歌舞伎の興行は四百年余の歴史を誇り、第二次世界大戦をはじめ多くの危機を乗り越え、この国とともに歩んで参りました。社会や皆様と共に困難を乗り越え、歌舞伎興行のバトンを未来へと繋ぐことが弊社の使命であると考えております。

此度のコロナ禍に際しても、今ではウイルスに対する知見も蓄積され、様々な対策も確立されて来ましたが、当初は全てが手探り状態であり、国内外の情報を収集しながら感染防止方法を練り上げてきたと言えます。お客様を第一に、出演者も含めた関係者全員の安全確保と公演実施の両立の検討を重ねる中で、このような事態に至りましたことは、痛切の極みでございます。

一方で、第7波に対峙する現状の社会情勢に於いては、興行ごとに大規模な PCR 検査を頻繁に実施することが、かえって医療機関をはじめ、社会のインフラに負担をかけることになりかねないという懸念も出てまいりました。引き続き、専門家の意見も仰ぎながら、社会インフラに負担が少なく、且つ持続可能な興行の在り方について模索を続けて参ります。

皆様のなお一層のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。